

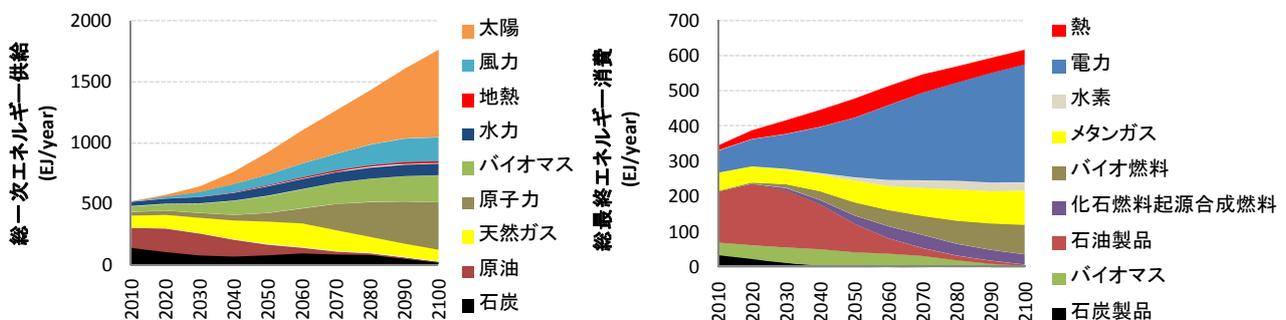
竹下研究室

(エネルギー・環境・経済システム学)

教員名：竹下貴之

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

竹下研究室では、①経済性、②供給安定性、③環境調和性、の3つの観点において優れた、**エネルギー供給・利用の理想的将来像**や各種エネルギー・環境技術の望ましい導入パターンを、**コンピューター・シミュレーション**の技法を用いて具体的に描写することを研究の柱にしています。これまでは、**全世界と日本**を対象とした研究に取り組んできました。



世界の理想的なエネルギー供給（左図）・利用（右図）に関するシミュレーション結果

日本を対象とした研究では、上述の3つの観点において優れていることに加え、原子力への依存度引き下げができるような電源構成のあり方を具体的に検討しています。今後は、**九州、及び、長崎県**を対象とした研究に着手し、同地域での望ましいエネルギー供給・利用の将来像について検討していきます。

こうした研究から得られた知見は、**IPCC等の国際機関**による著作物に反映されたり、国の**エネルギー・環境政策立案**に貢献する等の形で、社会に役立っています。さらに、太陽光発電パネルや燃料電池自動車といったエネルギー・環境技術が普及するための**研究開発目標**（価格をどれだけ下げればよいか？等）を具体的に提案・発信するといった形でも社会貢献に取り組んでいます。

● 先輩はどんなところに就職しているの？

竹下研究室での研究を通じて、学生の、①問題発見・解決能力、②データの収集・分析・加工能力、③IT技術に関するスキル、④英語力、が磨かれます。こうして身に付けた能力を活かし、主に、エネルギー産業、官公庁、シンクタンク、国際機関、IT産業で活躍できる学生を輩出していきたいと考えています。